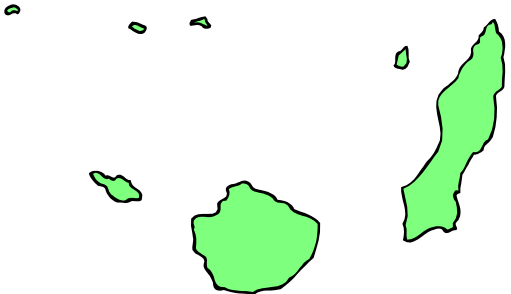




IT Kagoshima  
Supporting Party



特定非営利活動法人  
「ITかごしま支援隊」について

A map of Kagoshima Prefecture is shown in a light green color, with the text '特定非営利活動法人「ITかごしま支援隊」について' overlaid on it.

平成20年10月

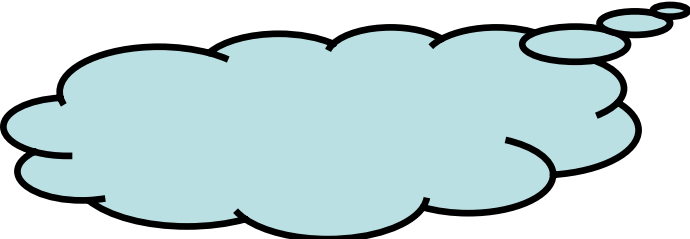
A smaller map of Kagoshima Prefecture is shown in a light green color, with the text '平成20年10月' overlaid on it.

特定非営利活動法人 ITかごしま支援隊

# 1. 組織プロフィール

組織名称	特定非営利活動法人 ITかごしま支援隊
設立日	平成19年10月31日
理事長	山下 博美
会員数	10名(ITコーディネータおよびそれに準じる有資格者で構成)

\*ITコーディネータとは、国家プロジェクトの一環として誕生した「経済産業省推進資格」



税理士・コンピュータ  
エンジニアが中心

(設立までの主な経緯)

平成16年6月 会員となる有志で研究会を発足(以後、定期的に勉強会を開催)

平成17年7月 奄美異業種交流会「ユイクラブ」へのアドバイス支援

平成17年8月 かがしま産業支援センター殿主催の「経営者・管理者向け電子セミナー」講師

平成17年11月 加世田本町通り振興組合「商店街活性化支援事業」を支援(～平成18年3月)

平成18年6月 NPO法人化を検討開始

## 2. 設立の趣旨 (設立趣意書からの抜粋)

(21世紀)

インターネットを始めとした情報技術の急速な発展

(ビジネス社会においては)

ITを経営戦略に取り入れた**事業の改革**や  
**新しい事業の開拓**が求められる  
(代表例: B2B, B2C, C2Cなどの電子商取引)

課題

戦略的IT化への悩みや疑問。それらに対する  
**具体的な解決策**が見出せない

(自治体・各種団体においては)

地域情報の発信、地域内外相互コミュニケーション、特産品ネットショップなどの**取り組みと成功**が求められる

課題

地域としてのIT化の戦略的活用の**具体的な解決策**  
が見出せない

「経営とITの橋渡し」としてのITコーディネータ  
(補足資料参照)

**情報化社会の発展、まちづくりの推進の  
具体的計画・実施への参画**

- ・IT化に関する糸口の提供
- ・問題解決への道案内
- ・IT利活用への底上げ など

結果

**鹿児島県の経済活動活性化に貢献**

## 3. 主な事業内容

### (1) 情報化投資・IT利活用の支援事業

#### <事業内容>

- ・情報化投資、IT利活用に関する講演、セミナー
- ・まちおこしや地域活性化等に係るIT利活用の支援

### (2) 情報提供・交流・相談事業

#### <事業内容>

- ・IT弱者へのIT利用の利点の周知を図るセミナー等
- ・デジタルデバイドの解消のための具体的な方法の情報発信とその普及のためのセミナー、勉強会、交流等

### (3) 人材育成事業

#### <事業内容>

- ・小学校、中学校、高等学校など教育機関でのIT教育
- ・公的機関でのIT教育

#### 具体的な活動実績

「平成19年度 電子商取引見直し実践研修(主催：(財)かごしま産業支援センター、IT経営応援隊九州地域ブロック連絡会)」にて

セミナー講師 平成19年11月10日、17日、18日(於：県民交流センター)

個別指導 平成19年12月～平成20年2月(2事業者への個別指導)

平成20年度も実施予定

**ITKS**  
**ILKS**

IT Kagoshima  
Supporting Party



# 国策 S a a S における 「中小企業」と「税理士活動」について

(国策SaaS：中小企業向けSaaS活用基盤整備事業)

～ ITコーディネータとコンピュータ会社の立場から～

平成20年10月

特定非営利活動法人 ITかごしま支援隊

## 【画面のみ】国策SaaSとは

中小企業の求める、

「財務会計」「人事給与」「顧客管理」等の業務ソフト

と

電子申請などの公的手続きに係るサービス

を

国がとりまとめおこなうこと

# 1. 国の企業に対する電子化の流れ(国策SaaSの前)

## 【背景】

- ・最近における飛躍的なインターネットの普及
- ・ブロードバンドや無線など情報通信技術の著しい向上

## 【大きな二つのポイント】

### 電子帳簿保存法の改定

一定の要件を満たせば、国税関係帳簿書類を紙での保存に代えてコンピュータで保存することが許される

民間事業者等の書面の保存等に関わるコストの軽減

### e - Tax (国税電子申告・納税システム)

言わずとしれた、申告や納税の電子化

政府全体として取り組んでいる「電子政府」の実現

# 1 - 1 . 電子帳簿保存法について

## スキャナ保存のイメージ





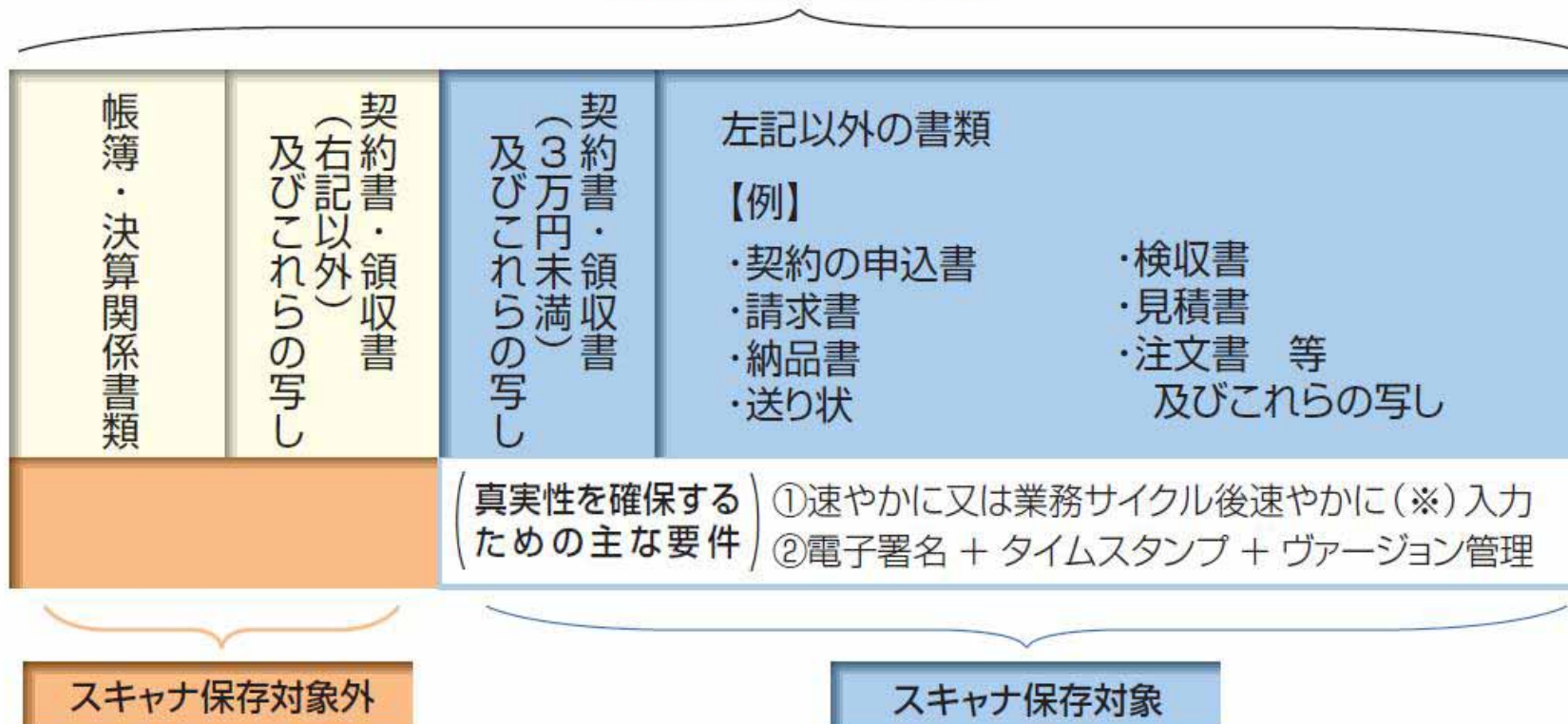
# 1 - 1 . 電子帳簿保存法について

## 国税関係書類のスキャナ保存の要件等

— 税務署長の承認・真実性及び可視性を確保する必要があります —

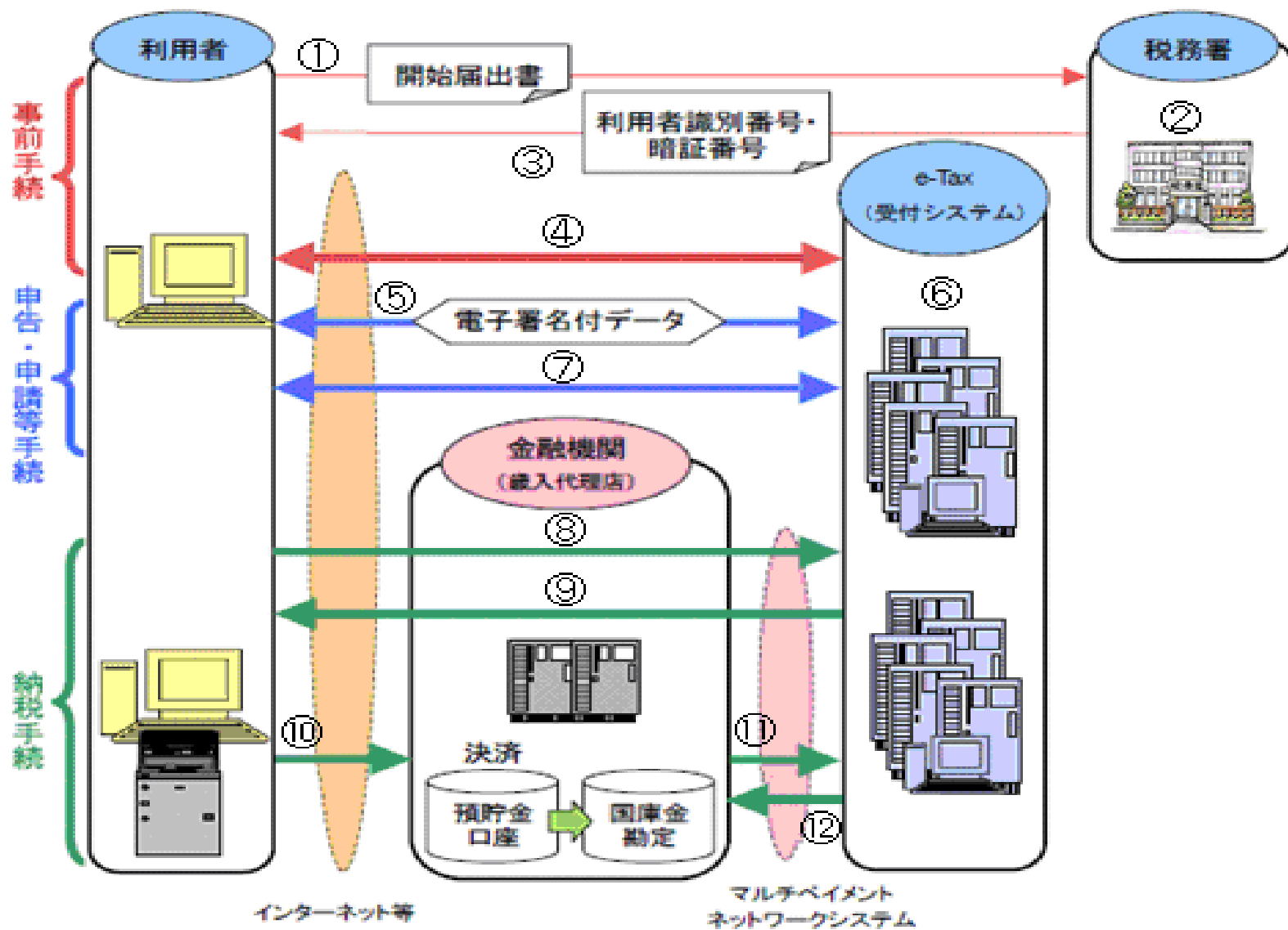
### 国税関係帳簿書類のスキャナ保存の区分と主な要件

#### 国税関係帳簿書類の区分



(※) 業務サイクル後速やかに入力を行うには、業務サイクルを定めた事務処理規程及び電子帳簿保存法の承認を受けた帳簿が必要になります。

# 1 - 2 . E - Taxについて



## 2. 中小企業向けSaaSプロジェクト(以下、国策SaaS)について

### 中小企業においてIT化が進まない理由

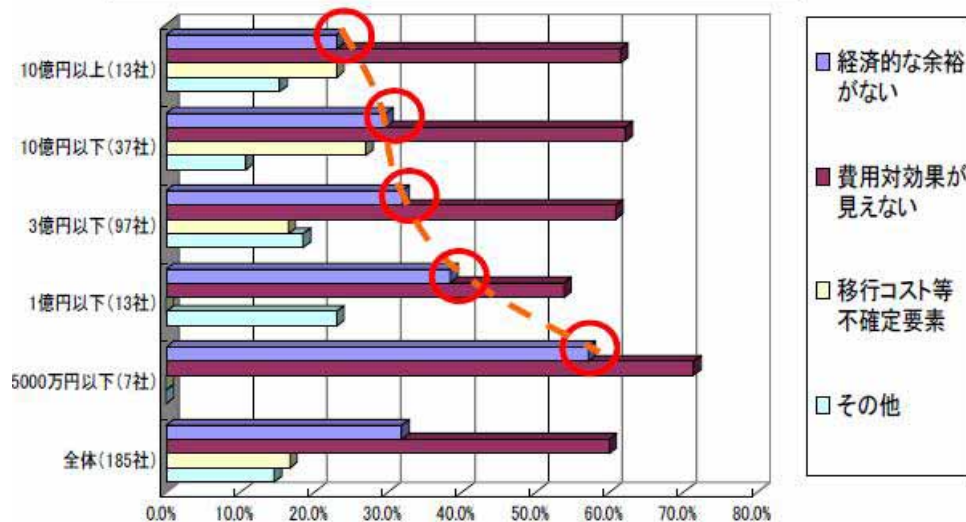
#### 内的要因

- 売上規模が小さい中小企業ほど経済的な理由からITを導入していない。
- ITに対する知識不足からITを導入しない中小企業が多い。

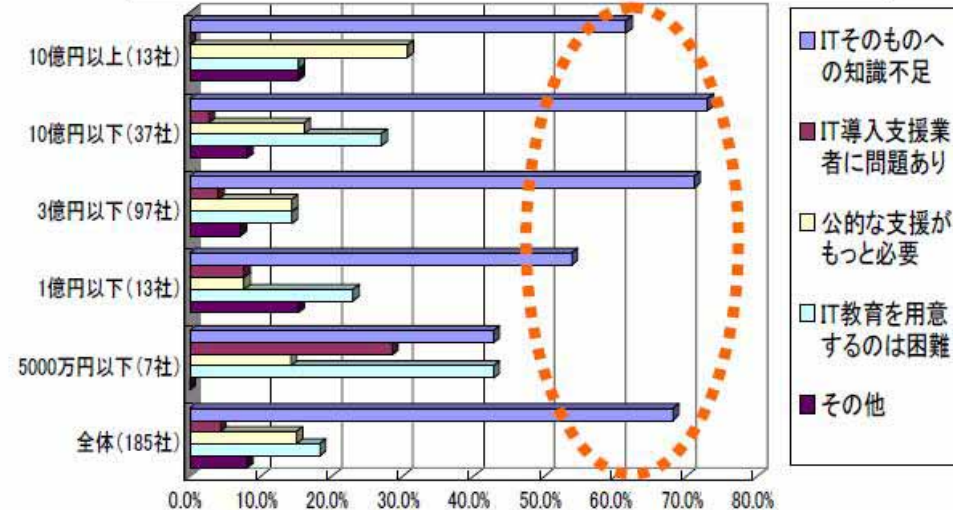
#### 外的要因

- 中小企業の多様なニーズに的確に応えるソフトウェア、システムが十分に揃っていない。
- 中小企業にとって、安価で利用しやすいサービス(SaaS・ASP等)が十分に普及していない。

IT未導入の経済的な理由(売上高別)



IT未導入の支援策に係る理由(売上高別)



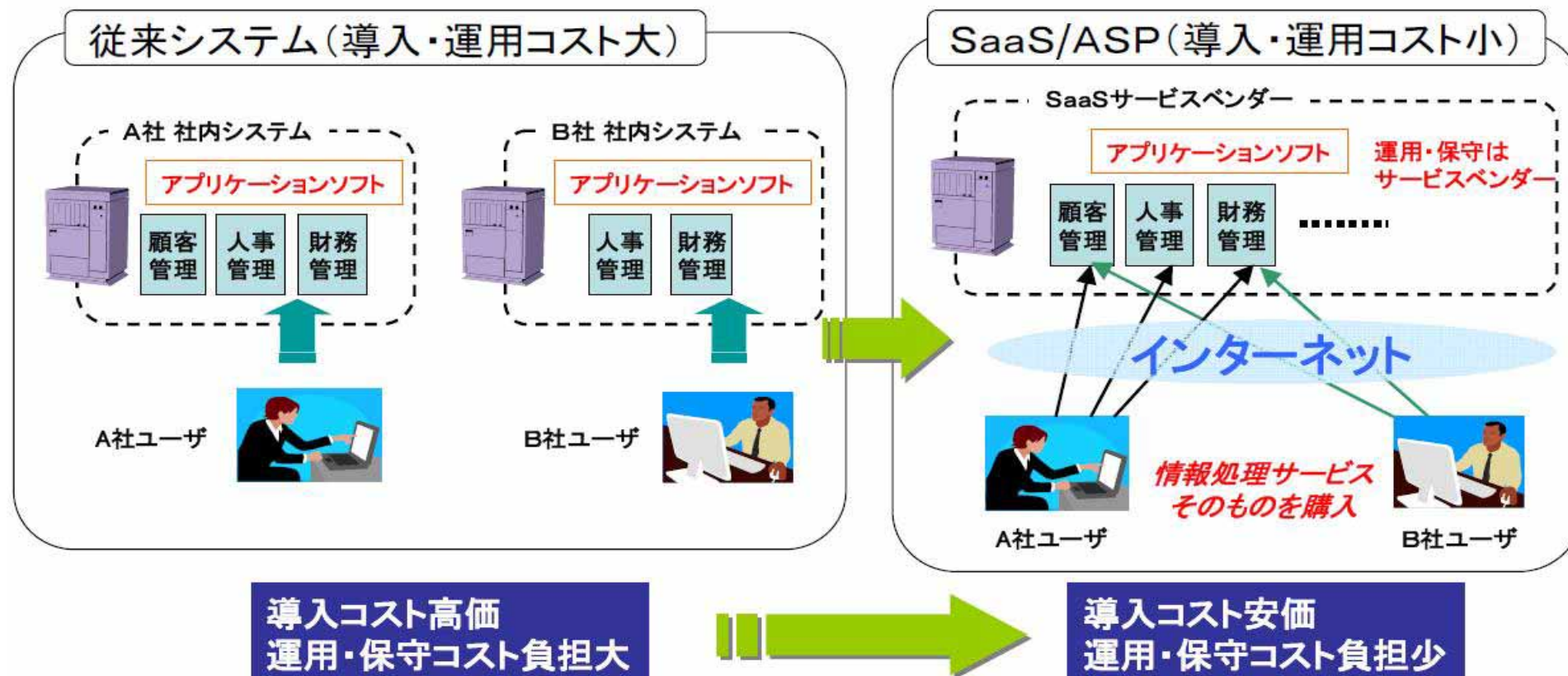
(出所) 経済産業省「平成17年度中小企業IT活用実態調査(平成18年3月)」

## 2. 国策SaaSについて

**SaaS・ASPとは** (SaaS : Software as a Service, ASP : Application Service Provider)



- アプリケーション・サービスを提供(「プロバイド」)すること  
(アプリケーション(応用業務)は、財務管理、販売管理、顧客管理などの情報処理サービス)
- ベンダ企業が提供(プロバイド)するのはコンピュータやソフトではなく、**情報処理サービスそのもの**。  
専用線やインターネット網で提供。
- 低コスト、セキュアかつ専門知識不要で利用可能といった特長を持つ。



## 【画面だけ】なぜSaaS？(コンピュータ業界の本音)

### 【ソフトウェア業界の事情】

- ・ソフトウェアの売上が伸びにくくなった
- ・新たな売れ筋商品が出にくくなった
- ・外部情報資源利用(インターネット系)に対する抵抗感がない

### 【ハードウェア業界の事情】

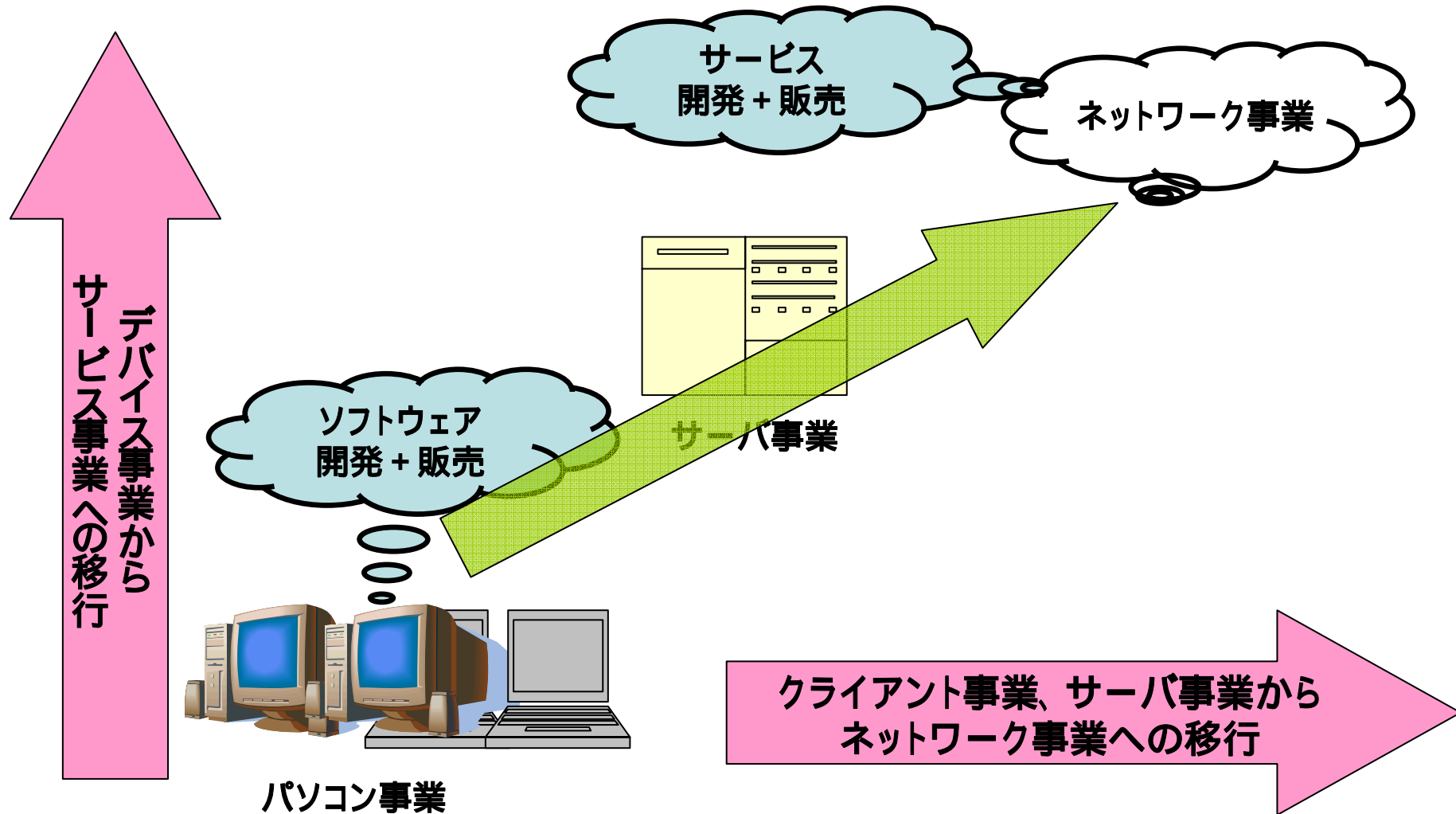
- ・パソコンが廉価(安売り)販売に突入
  - …量販店のほうが安い
  - …どのメーカーでも一緒(差別化なし)
  - …儲けがすくない

### 【通信事業者の事情】

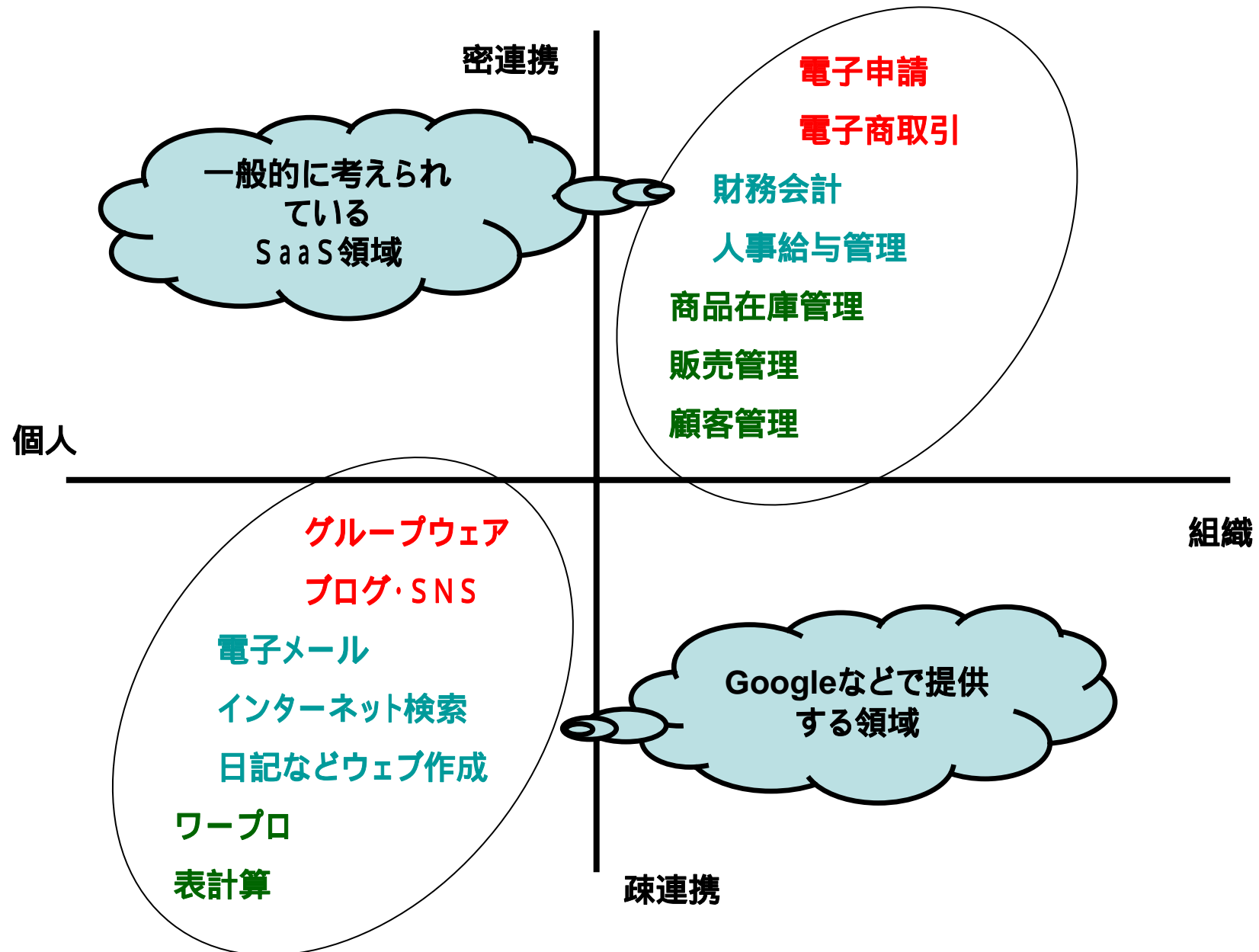
- ・音声中心のサービスだけでは物足りないという利用者
- ・音楽などの娯楽コンテンツだけでなく、ビジネスで使える内容を

# 【画面だけ】なぜSaaS？（コンピュータ業界の本音）

## 【重心が移行しつつある情報通信技術市場】



# 【画面だけ】SaaSは、何を提供するのか？



## 2. 国策SaaSについて

### 中小企業向けSaaSプロジェクト展開

中小企業、特に小規模事業者は経営体力、事業環境等の面で大企業に比べてIT化が進みにくい

現状

- ① IT投資に係る初期投資を負担できない
- ② ITリテラシーのある従業員を確保できない
- ③ 中小企業向けのITサービスの発達・普及は遅れがち

### 中小企業向けSaaSプロジェクトの概要

インターネット等を活用したソフトウェア提供サービス(SaaS)を活用して、専門知識のない中小企業でも、安価かつ容易に、ITを活用した業務効率化を行えるよう、基盤となるシステムの開発を行い、財務会計、人事給与、顧客管理等の業務の革新を支援するとともに、公的手続の電子申請による円滑化を図る。

○中小企業が安く、安全で専門知識不要で利用できるソフトウェアサービス基盤(SaaS: Software as a Service<sup>注</sup>)を構築。プラットフォーム上でソフトウェアを稼働させることで専門IT人材がいなくても簡単に利用できる仕組みを整備。

○中小企業が求める財務会計、人事給与、顧客管理等の業務アプリケーションや電子申請などの公的手続きに係るサービスを、ITを活用して低廉な価格で提供。

○利用しやすいユーザインタフェースを実現するとともに、アプリ間の連携を図り、必要なサービスをワンストップで提供。

平成20年度予算要求額 18億円(新規)  
(委託費)

※本事業と並行して、中小企業経営革新プラットフォームを中小企業へ本格的に普及させるための支援体制を整備。



## 2 - 1 . 国策SaaSのアプリケーション開発事業公募結果

【会計・経営・税務・申告・人事などの業者】



これらの会社は  
何を考えている？

- ・株式会社TKC
- ・株式会社オービックビジネスコンサルタント(奉行シリーズ)
- ・ソリマチ株式会社(ソリマチシリーズ)
- ・株式会社タイガー(会計ソフトなどの 応研シリーズ)
- ・日本ビズアップ株式会社(会計ソフトなどの 発展シリーズ)
- ・株式会社ビーイング(経営管理)
- ・ビジネスオンライン株式会社(ビジネス家計簿)
- ・ビズソフト株式会社(経理・会計・青色申告)
- ・株式会社ミクロ情報サービス(会計事務所向け会計、税務etc)
- ・弥生株式会社(弥生シリーズ)
- ・ラクラス株式会社(人事)

続く

## 2 - 1 . 国策 SaaS のアプリケーション開発事業公募結果

### 【その他関連の業者】

- ・ウイングアークテクノロジーズ株式会社(帳票系)
- ・株式会社NTTデータ
- ・ガーデンネットワーク株式会社(業務フロー系)
- ・クオリティ株式会社(セキュリティ系)
- ・株式会社ネオジャパン(セキュリティ系)
- ・株式会社豆蔵(内部統制系)



以上18社  
(参考:応募は20社)

## 2 - 2 . 国策SaaSは中小企業の救世主になるか？

(あるパネルディスカッションより引用)

### 【問題提起】

- ・「ITは要らない。税理士に丸投げすればよい」が中小企業の実態では？

### 【経済産業省】

- ・まずは、会計力 / 経営力をつけて中小企業の生産性を向上させる。
- ・そのためには今回のSaaSでIT化を推進する  
(ITコスト低減、IT担当者不足、IT効果が不明の対策)
- ・その上で次のIT活用が見えてくる

### 【ソフト提供会社】

- ・国策SaaSの必要な条件は、「圧倒的な便利さ」である
- ・「単に会計がインターネットでできる」 「得する(それも知らない間に)」こと

### 【公認会計士・税理士】

- ・たとえば、「SAAS決算データをメインバンクに開示すると、金利優遇される」
- ・また、会計事務所の業界は保守的であり、会計ソフトのベンダ(業者)を一回選ぶとなかなか変えられない。会計事務所もSaaSを使うメリットが必要

続く

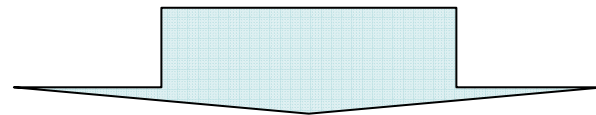
## 2 - 2 . 国策SaaSは中小企業の救世主になるか？

(あるパネルディスカッションより引用)

【経済産業省】

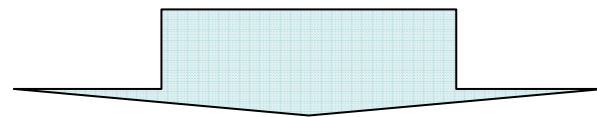
(前ページより)

- ・「中小企業、税理士ともにメリットがあることを考えていく」すぐに着手できるのは、「ITリテラシ向上のための研修の支援」。そのほかの対策も考える
- ・いずれにしても、国 / 中小企業 / 税理士 / IT会社のつながりで成功させたい



税理士としても、財務会計で「資産・負債などの勘定科目登録」を指導するなどの積極的関与が必要になる。コンピュータ会社に任すだけでは今後は心もとない。

自分の身は自分で……



ご連絡いただければ、  
(財)かごしま産業支援センターの「情報化アドバイザー派遣」制度などをご活用して、お客様同行いたします。

(連携提案)ITと経営の橋渡しである、

**ITかごしま支援隊**

のご活用をお願いいたします。

## 【画面だけ】国策SaaSの疑問(真摯に受け止めは必要だが)

### 【心理的疑問・・・情報の保存】・・・街の監視カメラのようなものか？

会社の情報が、インターネットを介して、会社の外に保存される

(メールはすでに使っている。ただし、業務情報は？)

(セキュリティは大丈夫なの？)

会社の情報がガラス張り

(良い言葉ではないが、二重管理ができない？)

### 【社内のしくみの連携】・・・一部だけ使う？

今回のSaaSで、「会計 / 販売 / 申告」を使うとする。

+

製造管理・・・発注 / 在庫 / 部材管理・・・これは従来とおりのもの

(業種ごとまたは、各社独自は未提供)

結局、会社に合わない・・・という意見になりえる

## 【画面だけ】ITコーディネータに求められる能力

税理士と同じ領域

経営戦略フェーズ・・・事業経営に対しての、具体的な戦略

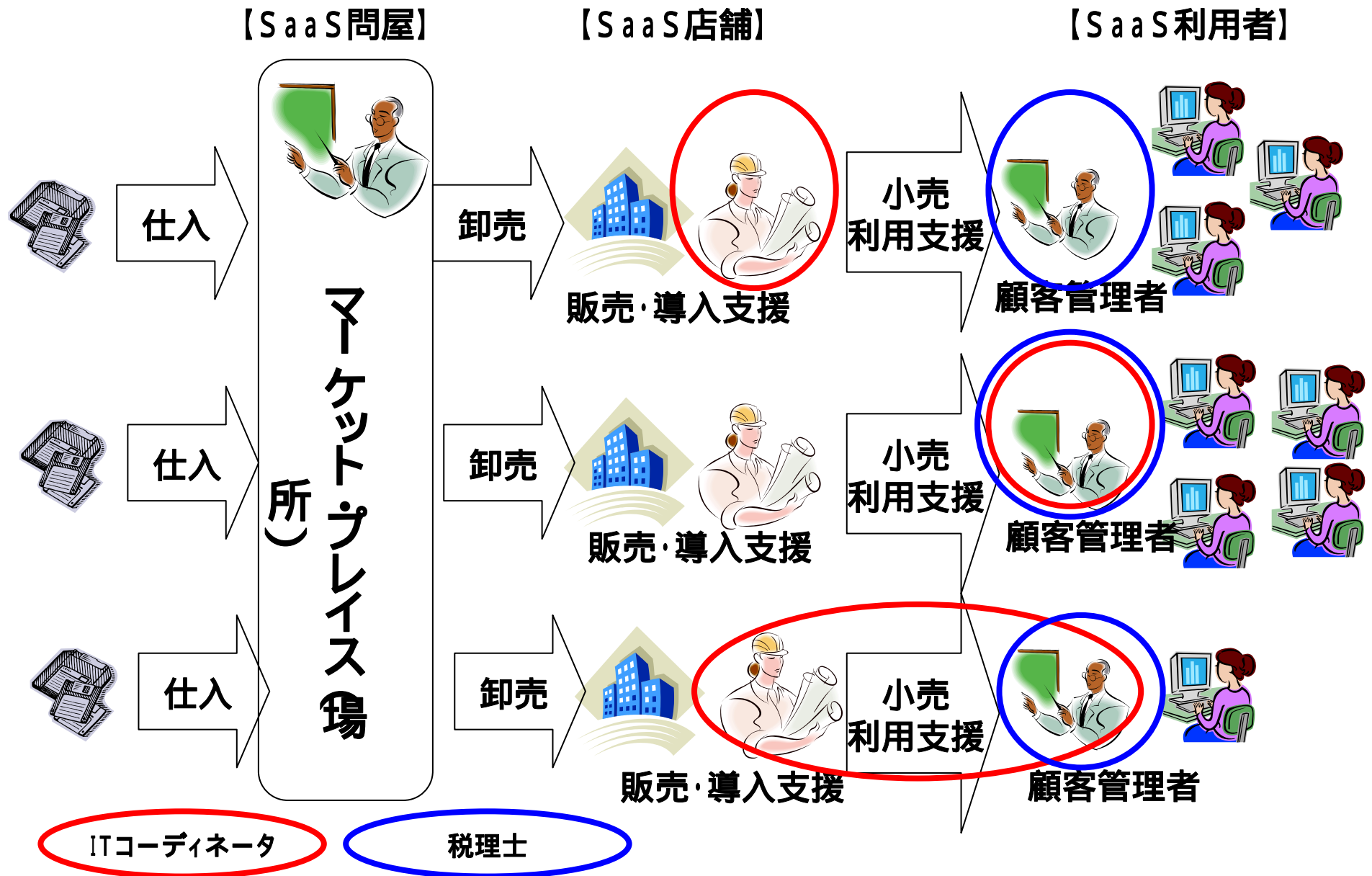
IT戦略策定フェーズ・・・経営戦略に基づく、IT活用の具体化

IT資源調達フェーズ・・・IT導入をするにあたっての要件決め

IT導入フェーズ・・・ITの導入を経営者に代わって支援

ITサービス活用フェーズ・・・IT導入後のモニタリング

# 【画面だけ】SaaSにおける税理士とITコーディネータ

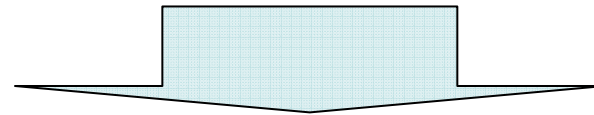


## 2 - 2 . 国策 SaaS は中小企業の救世主になるか？

(あるパネルディスカッションより引用)

税理士としても、財務会計で「資産・負債などの勘定科目登録」を指導するなどの積極的関与が必要になる。コンピュータ会社に任すだけでは今後は心もとない。

自分の身は自分で……



(連携提案) ITと経営の橋渡しである、

**ITかごしま支援隊**

のご活用をお願いいたします。

ご連絡いただければ、  
(財)かごしま産業支援センターの「**情報化アドバイザー派遣**」制度などをご活用して、お客様同行いたします。